

## 大御所の遺産探し 家康公顕彰400年

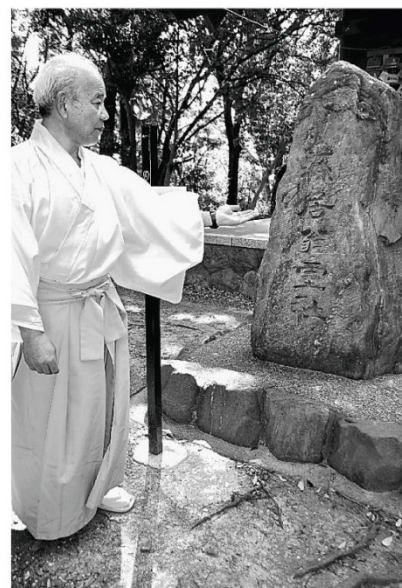
◆ 48



江戸時代の三大改革の一つ、天保の改革を推し進めたことで知られる水野忠邦。天下統一を果たした徳川家康にあやかって出世を目指し、実質石高20万石を越す九州の唐津藩から、あえて6万石

### 歴史を照らす

⑫ 水野忠邦



水野忠邦が書いた「県居翁霊社」の碑文。国学者をまつる神社の建立は国内初だった。3月31日、浜松市中区東伊場

### 「国民守る」志高い老中

の浜松藩の藩主になった忠邦が1833年に書いた碑文「県居翁霊社」が、国学者賀茂真淵を顕彰する県居神社（浜松市中区東伊場）に残る。裏書きも忠邦の手による。同神社の三浦豊宣司(67)は「老中に上り詰めた忠邦の碑文が、当神社に残っていることは誇り」と胸を張る。浜松藩主時代に寺社奉行、大阪城代、京都所司代、そして老中へと出世の階段を駆け上がったが、天保の改革に挫折し

て失脚。山形に移封された。質素な改革を旨とした改革は、藩内でも徹底され、農民の不平が高まった。天保の改革は時代に適さなかったが、忠邦

**メモ** 県居翁霊社 国学の祖、賀茂真淵（1697～1769）をまつるため、1839年に遠江の国学者高林方明（1769～1846）が、真淵ゆかりの伊場に建立した。国学者をまつる神社としては日本初。当時の浜松藩主水野忠邦の協力を得た。真淵が亡くなった年に誕生した方明は、自分は真淵の生まれ変わりだという意識を持っていたとされる。県居翁霊社は1884年に県居神社と改称され、1920年に現在地の浜松市中区東伊場に移された。

2015年4月4日 朝刊

①水野忠邦が推し進めた改革は何といたうでしょうか。

[ ]

②水野忠邦は、どうして浜松城主になろうとしたのでしょうか。

[ ]

③水野忠邦が書いた碑文を見るために、どこに行けばいいでしょうか。

[ ]

年 組 名前

(小学校中学年以上 社会・総合)